

# 家庭科・家庭分野のベストミックス

「情報活用能力と生活をよりよくしようとする資質・能力の育成を目指して」

東濃教育事務所



実践的・体験的な活動を通して、生活に係る知識・技能を身に付けるとともに、一連の学習過程（計画・実践・評価・改善）における問題解決的な学習を効果的かつ安全に実施することが期待されます。

## ① 生活の課題発見

### 自分の生活を振り返り、問題を見出す。

- ・買った物をした時の失敗談について商品の写真など記録としてまとめておく。
- ・動画で、部屋の整理整頓の様子をある程度の期間撮影しておく。
- ・幼児の日常生活の様子（遊んでいる、食事しているなど）を動画に撮っておく。
- ・高齢者や地域の方の行事での様子について動画で撮っておく。
- ・前時の振り返りを確認する。

### 家庭で撮りためた動画から

比較し、同じこと、違うこと、分かったこと、気づいたことから、生活の中の問題を見だし、課題化していくことができます。

### アンケート結果から

事前の家族へのアンケートの結果などを回収し、グラフやチャート図にまとめて学習者用タブレットに配付し共有することで、他の家庭の状況から生活を比べるなどして生活を見つめることができます。

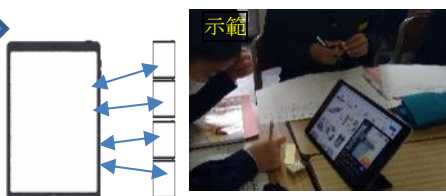


## ② 課題の検討と計画

### 課題を設定し、課題解決の見通しを立てる。

- ・調理や製作における作業工程の拡大や動画等の機能の活用により、個別あるいは、全体で知識及び技能を習得する見通しを持つ。
- ・過去の作品や作り方の詳細を写真や動画で撮影保存しておくことでそれらを活用して個々の調理や製作の計画に生かす。
- ・インターネットで情報を収集する。

### 作業工程を繰り返し確認



### 過去の作品から計画



## ③ 実践及び活動

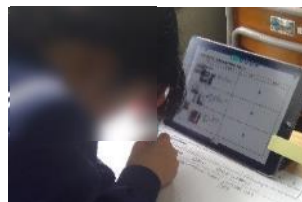
### 主体的に課題を解決するために追究する。

\*目的に応じて、必要に応じて、能力に応じて、進度に応じて

- ・住の内容では、「安全」という視点から耐震の工夫を映像資料等から見付け、家庭でできることを考える。
- ・献立作成の際に、一汁三菜や主食、主催、副菜などの組み合わせなどを趣味レーションソフトを用いて試行錯誤する。
- ・自分が行っている実習や製作を動画に撮り、できていないところについて振り返りながら改善していく。
- ・布の裁断部分が分からなくなったとき、元の布地をタブレットに収めておき、どの部分の裁断かを確認する。
- ・実験結果を表にまとめ、即時に共有する。
- ・この能力や学習の進度に合わせて示範動画や資料を確認しながら学習を進める。

作りたい袋のデザインの情報収集や調理の材料についての選び方や生鮮食品の鮮度についての情報収集から計画の見通しがもてます。

### 資料を基に個別に追究



調理・被服、等の示範の動画、共通のプリント等、視覚的に有効な資料を基に、自分の力で調理したり製作したり調査したりできます。その間教師は、個別に支援指導することができます。

### 客観的に確認



衣食住に係る実験について、各自（グループで）結果を打ち込むだけで、その結果を随時共有することができます。

## ④ 評価及び改善

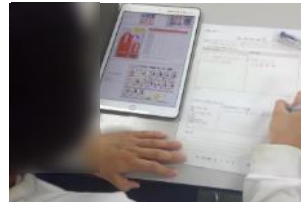
### 課題追究を通して得た「変容」を可視化する。

- ・撮影した動画により、自己の学習の様子を可視化し、客観的な自己理解や自己評価、改善に生かす。
- ・幼稚園実習の様子を動画に残し、後日、改めて振り返るときに使用する。
- ・できたことについて、タブレットの動画や写真、内容をまとめたものなどを用いて仲間にプレゼンし、伝え合い、他者からの意見を聞くことで、他者からの評価により、自己の成長や改善点について新たに気づく。
- ・評価の形式（学習プリント等の枠）を配付し、評価したものを一括回収する。

### 自己の成長を記録、自己・他者評価し、提出・見届け



自分や仲間が作ったものについて改良した点など詳細を記録し、「よさ」や「工夫」などの気づきを促します。



使用した資料とともに、自分の気づきを相手にわかりやすく伝えることができます。

評価の形式（学習プリント等の枠）を配布し、児童生徒が記入したものを一括して回収します。先生は、提出状況や内容を即時に見取りつつ、見届けを丁寧に行うことができます。

## ⑤ 家庭地域での実践

### 生活の課題と実践

- ・実践計画の記録を残し、成果を具体的に説明したり、今後の生活をよりよく改善したりすることに生かす。
- ・地域の行事等、多様な人々とかかわりの中から、家庭科での学習を生かす場面について実践し、家庭及び社会の一員としての自己を磨く。
- ・自己評価、相互評価の整合性を学ぶ。

### 既習について身に付けたことを生かし、家庭での実践を記録し、成果について説明する。よりよい生活への創造につなげる



家庭や地域での実践の様子・成果を具体的に説明・報告ができます。また、実践の中での発見や疑問等について具体的な画像で説明することができます。さらに、自己評価・相互評価に活用できます。